

# 平成30年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月15日

上場会社名 株式会社 オーネックス  
 コード番号 5987 URL <http://www.onex.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大屋 和雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 鶴田 猛士  
 四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 046-285-3664

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年6月期第3四半期の連結業績(平成29年7月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年6月期第3四半期	4,601	13.6	336	37.2	334	35.9	245	115.5
29年6月期第3四半期	4,049	4.9	245	16.8	245	16.0	113	4.8

(注) 包括利益 30年6月期第3四半期 248百万円 (57.6%) 29年6月期第3四半期 158百万円 (129.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年6月期第3四半期	148.21	
29年6月期第3四半期	68.76	

(注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年6月期第3四半期	10,683	5,517	51.6	3,331.61
29年6月期	9,997	5,301	53.0	3,201.21

(参考) 自己資本 30年6月期第3四半期 5,517百万円 29年6月期 5,301百万円

(注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年6月期		0.00		2.00	2.00
30年6月期		0.00			
30年6月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年6月期(予想)の1株当たり期末配当につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細は、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

## 3. 平成30年6月期の連結業績予想(平成29年7月1日～平成30年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,000	9.6	380	31.6	400	35.9	270	109.9	163.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年6月期3Q	1,660,000 株	29年6月期	1,660,000 株
期末自己株式数	30年6月期3Q	3,961 株	29年6月期	3,803 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年6月期3Q	1,656,143 株	29年6月期3Q	1,656,273 株

注) 当社は、平成30年1月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年9月27日開催の第66期定時株主総会において、株式併合について承認可決され、普通株式10株につき1株の割合で実施しております。なお、株式併合を考慮しない場合の平成30年6月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

(1) 平成30年6月期の配当予想

1株当たり配当金

期末 2円00銭

(2) 平成30年6月期の連結業績予想

1株当たりの当期純利益

通期 16円30銭

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用所得環境の改善が続く中で景気の緩やかな回復基調が続きました。一方で原油安の不服感や為替の円安傾向によるエネルギー価格の上昇があり、景気は一部に改善の遅れが見られました。また、構造的な人手不足の問題が顕在化してきており、わが国経済の回復に水を差しかねない状況になりつつあります。海外では米国の景気は着実な回復が続いており、中国経済にも持ち直しの動きがあります。ただし、英国のEU離脱問題や米国大統領による経済政策転換、中東、北朝鮮等の地政学的リスクにより、為替・金融資本市場の変動リスクが大きくなっており、先行き不透明感が増加しています。

このような経済状況の下で、当社グループは、生産性の向上に取組み原価低減を図り収益性向上に努めました。主力取引業界である自動車、建設機械、産業工作機械の中で、建設機械関連受注は回復の兆しがあり、産業工作機械関連受注はロボット用減速機等が増加、自動車部品関連受注も好調に推移しました。これにより、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。経費面では、電力費等の製造コストが上昇しつつあるものの、経費の削減に努めたため、前年同四半期連結累計期間と比較して増益となりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,601百万円（前年同四半期比13.6%増）、営業利益は336百万円（同37.2%増）、経常利益は334百万円（同35.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は245百万円（同115.5%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①金属熱処理加工事業

金属熱処理業界においては、主力取引業界である自動車関連需要の受注は好調に推移し、産業工作機械関連需要の受注も増加、建設機械関連需要の受注は回復の兆しがあり、全体的に受注増加傾向にありました。また、㈱オーネックステックセンターの売上も増加し、売上は前年同四半期連結累計期間と比較して増収となりました。

一方で電気料金は上昇しつつあるものの、生産性の向上及び人件費、諸経費削減に取り組み全力で収益の確保に努めたため、セグメント利益は増益となりました。

これらの結果、売上高は4,091百万円（前年同四半期比13.9%増）、セグメント利益は282百万円（前年同四半期比41.9%増）となりました。

#### ②運送事業

運送事業につきましては、三重営業所の開設に伴う売上増加、機械などの重量物の搬送取り扱いが安定していたため、売上は増加しました。また、備車（外注）便を活用すると共に、運行管理の徹底、配車の効率化及びエコドライブによる燃費の削減などに努めたため、セグメント利益は増加しました。

これらの結果、売上高は509百万円（前年同四半期比11.5%増）、セグメント利益は44百万円（前年同四半期比121.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

資産合計は、前連結会計年度末と比較して686百万円増加し、10,683百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金が110百万円増加、機械装置及び運搬具が345百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末と比較して471百万円増加し、5,166百万円となりました。これは主に短期借入金74百万円増加、長期借入金196百万円増加したことなどによるものです。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末と比較して215百万円増加し、5,517百万円となりました。これは主に、利益剰余金が212百万円増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年6月期の連結業績予想につきましては、平成29年8月10日に発表いたしました業績予想を上回る見込みとなりましたので業績予想を修正することいたしました。

なお、詳細につきましては、平成30年5月14日に発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,131,461	2,203,627
受取手形及び売掛金	1,287,003	1,397,755
電子記録債権	580,354	672,916
製品	9,110	19,838
仕掛品	30,208	36,591
原材料及び貯蔵品	89,358	91,828
繰延税金資産	18,397	34,764
その他	119,318	121,479
流動資産合計	4,265,212	4,578,803
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,312,738	1,290,358
機械装置及び運搬具(純額)	1,174,390	1,519,696
土地	2,275,851	2,275,851
リース資産(純額)	130,005	123,612
建設仮勘定	26,487	21,627
その他(純額)	226,941	225,962
有形固定資産合計	5,146,414	5,457,109
無形固定資産	28,981	20,965
投資その他の資産		
投資有価証券	275,180	324,508
繰延税金資産	174,678	182,322
その他	101,106	115,994
投資その他の資産合計	550,966	622,825
固定資産合計	5,726,362	6,100,900
繰延資産	5,575	4,281
資産合計	9,997,150	10,683,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年6月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	201,348	231,086
電子記録債務	198,849	199,673
短期借入金	556,781	630,894
1年内償還予定の社債	45,000	25,000
未払金	162,869	240,311
未払費用	249,637	266,388
未払法人税等	116,498	94,673
賞与引当金	20,078	83,981
その他	302,780	370,662
流動負債合計	1,853,844	2,142,672
固定負債		
社債	57,500	32,500
長期借入金	1,931,390	2,127,447
退職給付に係る負債	690,111	706,618
その他	162,466	157,468
固定負債合計	2,841,468	3,024,033
負債合計	4,695,312	5,166,705
純資産の部		
株主資本		
資本金	878,363	878,363
資本剰余金	713,431	713,431
利益剰余金	3,632,560	3,844,891
自己株式	△5,588	△5,964
株主資本合計	5,218,765	5,430,721
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	83,071	86,557
その他の包括利益累計額合計	83,071	86,557
純資産合計	5,301,837	5,517,279
負債純資産合計	9,997,150	10,683,984

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)
売上高	4,049,794	4,601,050
売上原価	3,019,735	3,424,869
売上総利益	1,030,058	1,176,181
販売費及び一般管理費	784,744	839,707
営業利益	245,314	336,474
営業外収益		
受取利息	2,051	1,809
受取配当金	2,867	3,411
受取賃貸料	4,833	5,235
スクラップ収入	3,088	3,867
その他	8,477	5,719
営業外収益合計	21,318	20,043
営業外費用		
支払利息	14,834	14,607
支払手数料	4,539	6,396
その他	1,295	1,347
営業外費用合計	20,670	22,352
経常利益	245,963	334,165
特別利益		
固定資産売却益	9,451	1,299
投資有価証券売却益	—	2,224
受取和解金	—	60,000
特別利益合計	9,451	63,524
特別損失		
固定資産除却損	112	5,117
特別損失合計	112	5,117
税金等調整前四半期純利益	255,301	392,572
法人税、住民税及び事業税	144,558	168,175
法人税等調整額	△3,140	△21,058
法人税等合計	141,418	147,117
四半期純利益	113,883	245,455
親会社株主に帰属する四半期純利益	113,883	245,455



(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成29年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年7月1日 至 平成30年3月31日)
四半期純利益	113,883	245,455
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,117	3,485
その他の包括利益合計	44,117	3,485
四半期包括利益	158,001	248,941
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	158,001	248,941
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,592,355	457,439	4,049,794	—	4,049,794
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	204,359	204,359	△204,359	—
計	3,592,355	661,798	4,254,154	△204,359	4,049,794
セグメント利益	199,157	20,041	219,198	26,116	245,314

(注) 1. セグメント利益の調整額26,116千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年7月1日 至平成30年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	金属熱処理 加工事業	運送事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,091,190	509,860	4,601,050	—	4,601,050
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	231,728	231,728	△231,728	—
計	4,091,190	741,589	4,832,779	△231,728	4,601,050
セグメント利益	282,690	44,437	327,127	9,346	336,474

(注) 1. セグメント利益の調整額9,346千円はセグメント間取引の消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。